

国際ロータリー第2680地区

第1回戦略計画委員会

議事録

開催日時 2022年06月14日(火) 16:00～

開催場所 ポートピアホテル 4F パール

議事録作成人 委員長 高瀬英夫

次第

(1) 挨拶 阪上ガバナーエレクト

(2) 出席者 阪上栄樹 GE、高瀬英夫、矢野宗司、神谷誠治、天羽公夫
永瀬隆一、竹原善記、山本裕計、和田孫博、矢坂誠徳、今田学志、
前川忠範、小西龍機、津田豊、中村孝秀、野澤勝憲、阪本渚子

(3) 新年度スタートにあたり(高瀬委員長より)

① 過去の委員会テーマの確認

- ・2015～16年度 <グループの再編>につきアンケート
総論賛成、各論反対で現在は棚上げ状態
- ・2016～17年度 青少年交換の見直し
- ・2017～18年度 ガバナー事務所の固定化
- ・2018～19年度 RLIの採用
- ・2019～20年度 地区ビジョン・戦略計画の策定
- ・2020～21年度 日本ロータリー100周年 地区冠名基金設立
- ・2021～22年度 クラブ戦略計画委員会設立の推進

② 2022～23年度 阪上ガバナー諮問事項

- ・RIの戦略計画に対する理解の推進とともに、クラブの戦略計画委員会の設置を推進し、その活動を支援する。
- ・新しいロータリーの行動規範の考え方に沿った戦略計画を立案する。
- ・RACの地区での位置づけ検討願いたい(RI,地区分担金ETC)。
(RACを委員に加えてもらいたい)
- ・地区内グループの再編を推進する。

③ 以上を受けて、今年度の委員会活動の叩き台を下記します。7月からの委員会で意見交換の上具体的に進めたいと考えていますので積極的意見交換のほどよろしく願いいたします。

- ・ビジョン・戦略計画 (戦略から戦術へ)
- ・My ROTARY (登録から活用)
- ・ロータリー賞の獲得 (申請から獲得へ)
- ・オンライン会議の活用 (具体化)
- ・DX (デジタルトランスフォーメーション) の普及
- ・RAC 分担金 (RI,地区) 等の検討
- ・地区内のグループの再編
- ・今年度は研修デーの計画はなく、他の委員会 (EX.クラブ管理運営委員会、危機管理委員会、会員維持増強委員会等) と共同歩調で日程調整

- ④ 委員会のキーワード 「登録から活用へ」
「戦略から戦術へ」
「総論から各論へ」

夫々のテーマの具体策を提示し、地区の各委員会と連携し、クラブを応援する。

- ・テーマによりガバナー補佐、関係委員会 (EX.クラブ管理運営委員、危機管理委員会、会員維持増強委員会等) に呼びかけ、共同開催も検討。

(4) 意見交換

種々のテーマの中から、

『まず地区ビジョンの「活気にあふれ、魅力あるクラブを目指し」を取り上げ、ロータリーの魅力の一つである例会の具体的活性化策として、開催回数、時間帯、運営方法などにつき「悩み」、及び「活性化のための提案」を持ち寄り、議論し、各クラブに提案してどうか』

との意見がまとまり、次回は「会員が待ち遠しい魅力ある例会作り」をテーマとします。意見の持ち寄り方法は、次回のレジュメ送付時に付記します。

(5) 当委員会の幹事役に永瀬委員を推薦、承認を得た。

(6) 次回開催 2022年 7月14日(木)

場所 後報

(7) 閉会挨拶

矢坂委員

(8) 懇親会 ポートピアホテル 31階 景聚園(中華料理)(会費¥8,000)

乾杯 : 矢野副委員長

中締め : 和田委員(灘中高校 直前校長)より下記内容で締め括りとなった。

灘中高校校是(柔道家 嘉納治五郎の教え)より

「精力善用」

自身の持つすべての力を最大限に生かして、社会のために
良い方向に用いる。

「自他共栄」

相手に対し敬意、感謝することで、信頼し合い、助け合う心を
育み、自分だけでなく他人と共に栄えある世の中にしようと
する。

嘉納治五郎は、柔道の道を究め強くなり、地位や名誉を得た後も、
決して驕ることなく人より研鑽を積み、常に向上心を持ち続け、
更なる目標を作り自らが世の中の役に立つ事を常に考えていた。
この二つの精神は世界の平和につながるという信念にまで高め
られたと言える。

修行で培った力は、相手をねじ伏せたり、威圧したりするために使
うものではなく、世の中を良い方向に動かす為に使わなければ
ないと弟子達に伝えた。また講道館柔道が世界の柔道へと発展
していった背景には、治五郎が自らの技を磨くだけでなく優れた
後輩を育てるために国籍や人種に囚われず公平に始動した事
が大きい。

この教えは、ロータリーの目的と共鳴するところ大であり、委員会の皆様
と共有すべく議事録に付記します。

以上